

免許返納者にタクシー補助を

高齢ドライバーの事故が多発していますが、江南市では80歳を超えても車の運転を続けなければ生活ができません。

安心して車を手放すことができるよう市の責任で公共交通網の整備を進めると同時に、80歳以上の免許返納者にはタクシー券を助成するよう求めました。

また、地域における自主的な買い物弱者支援の取り組みに、市が実効性ある補助メニューを作るよう求めました。

市当局の答弁は「免許返納者支援策は、現状の85歳以上への福祉タクシー券助成やいこまいCARの制度を含め検討する。地域主体の交通施策は手法を新



古知野北学供

年度に検討する」とまたもや先送りでした。

外遊びができる学童保育に

市内10校区の学童保育のうち外遊びがほとんどできないのは、交差点角の学供で実施している古北学童保育（写真左下）だけです。夏休み期間中は通常より利用児童が増える上に、朝から夕方までの長時間、狭い室内ではストレスがたまります。

児童数は今後も増加傾向で、小学6年生までの対象拡大や未実施のままの放課後子ども教室の実施を見据えると、一刻も早く小学校敷地内に新施設を建設するべきです。

市当局は「のびのびとした外遊びの必要性や児童数の推移、対象年齢の拡大も考慮し、検討していく」と答弁しました。

その他に、市長が公約の第一番に掲げた新図書館建設、シティプロモーションについても質しました。



市議 かけの 掛布まち子



市議 東 よしき

新ごみ処理施設建設に伴う要望や条件の保証を

新ごみ処理施設に必要な地権者同意を取得する土地の範囲が決まり、3月末時点で98.6%の同意が得られ、測量を実施することには100%の了解が確認されています。

2013年の12月に建設候補地に対する「アンケート」が地元各地区で実施され全体で約50%の人たちが「条件付き賛同」でした。今後建設地の土地売買契約締結などの段階で地権者の様々な意見や要望が反映されるべきだと質しました。

「新ごみ処理施設の敷地エリアは、尾張北部環境組合が、ごみ施設以外の東側、西側エリアは、他のそれぞれの事業者が地権者の条件を確認して用地交渉を進



現在の環境美化センター

めていく」との答弁でした。

確約書は6地区すべてに対応を

扶桑町小淵区への「確約書」が、3月末で承認されました。この「確約書」は、「安全対策、公害防止、健康被害への対処など地元地区の要望に対して将来にわたり、2市2町が責任をもって対処することを確約する」となっています。こうした「確約書」は小淵区だけのものではなく他の5地区とも書面を交わすべきだと要望しました。「他の地区についても確約書を結ぶ」との答弁でした。

生活再建支援で滞納解決を

経済状況が悪化し税金を納めたくても納められない人が増えています。そんなとき生活実態を無視した「預貯金などの差押」がされたら大変です。滋賀県野洲市では、滞納は生活困窮者のシグナルと捉え、納税相談に乗りながら相談者が自立できるよう支援しています。江南市でも生活再建支援で滞納解決という姿勢で取り組むよう要望しました。

難聴児の補聴器購入に助成を

軽度・中等度の難聴児の補聴器購入に対し、愛知県が新年度から助成を行うと予算化しました。江南市も助成すべきではないかと質しました。

「早い機会に、予算を議会に提案し、4月に遡って実施したい」との答弁でした。

保育料の値上げを押さえ希望者が入れる学童保育に



4月から学童保育料が値上げとなり、今後3年間、順次値上げされます。これ以上の値上げはしないこと。また70歳未満の同居の祖父母がいると原則学童には入れません。希望するものは入れるようにすること。さらに、夕方少ない支援員で、安全は守られるか。などについて質しました。

「保育料は、利用者負担と公費負担の公平の考え方に基いて決めたもの」「祖父母が病気や就労している場合以外は、家庭で見えていただく」「安全対策については、今後実情を調査し、適切な対応をとっていく」との答弁でした。

住宅の住み替えに支援を

高齢者が4階5階から階下へ転居する時や、家賃の高いアパートから公営住宅などに入居するときの引越し費用を助成することはできないかと質しました。「すでに実施されている岩倉市や春日井市などを参考に前向きに検討する」との答弁でした。

他に、就学援助の入学支度金を引き上げ、3月に支給できるようにすること。子どものインフルエンザワクチン接種に助成制度を設けることなどを要望しました。



市議 森 ケイ子